

News Letter

Japanese Association of Exercise Therapy and Prevention

新役員体制のお知らせ

2026年9月、新たな役員体制となりました。新体制のもと、益々の運動療法の普及と質の向上を目指し学会活動を進めて参ります。

(敬称略：同役職50音順)

理事長



後藤 葉一

北大阪ほうせんか病院

副理事長



沖田 孝一

北翔大学大学院
生涯スポーツ学
研究科

小熊 祐子

慶応義塾大学
スポーツ医学
研究センター

木庭 新治

昭和医科大学
医学部内科学講座
循環器内科学部門

曾根 博仁

新潟大学大学院
医歯学総合研究科
血液・内分泌・
代謝内科学講座

理事

石井 好二郎

同志社大学

太田 玉紀

猫山宮尾病院

白石 裕一

京都府立医科大学

日浦 幹夫

青森新都市病院

石黒 創

新潟大学医学部

勝木 達夫

やわたメディカルセンター

田村 好史

順天堂大学大学院

古川 裕

神戸市立医療センター中央市民病院

伊藤 修

東北医科薬科大学医学部

木村 穰

関西医科大学附属病院

都竹 茂樹

大阪大学

細井 雅之

大阪市立総合医療センター

礒 良崇

昭和医科大学藤が丘病院

近藤 和夫

日本医療大学

中島 敏明

獨協医科大学

牧田 茂

川口きゅうばらリハビリテーション病院

今井 優

医仁会武田総合病院

佐藤 真治

帝京大学医療技術学部

中田 由夫

筑波大学体育系

吉川 貴仁

大阪公立大学

監事

朽木 勤

兵庫大学

上月 正博

山形県立保健医療大学

新たに評議員も選任されました。評議員を含む役員一覧は、学会HPをご覧ください。

役員一覧は
こちら▶

第45回学術集会は盛会裡に終了しました

2026年9月5日 6日に開催しました第45回学術集会には多数のご参加をいただきました。ご参加の皆様およびご協力いただきました関係者の方々に厚く御礼を申し上げます。



(昭和医科大学 上條記念館)

第45回学術集会優秀演題

最優秀賞1演題、優秀賞2演題が選出されました。受賞演題と発表者を紹介します。ご受賞、誠におめでとうございます。



表彰式の様子
(第45回臨床運動療法学会学術集会)

最優秀賞



握力体重比による心房細動発症予測の縦断的検討

佐藤 隆明

新潟大学病院 血液・内分泌代謝内科

優秀賞



若年健常成人における心肺運動負荷試験中の脳酸素化動態と呼吸循環動態の関連および運動強度による変化

太田 悠介

順天堂大学大学院保健医療学研究科

／神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部

優秀賞



身体活動量と糖尿病の有無が認知機能および海馬体積に及ぼす影響：Bunkyo Health Study

森 亮貴

順天堂大学大学院 医学研究科代謝内分泌内科学

第46回学術集会開催のご案内

—職種・専門性の垣根を超えた全人的運動療法—

第 46 回

日本臨床運動療法学会 学術集会

— 職種・専門性の垣根を超えた全人的運動療法 —

会期 2027年 9月4日 (土) ・ 5日 (日)

会場 医療イノベーション推進センター
／ 神戸市立医療センター中央市民病院

会長 古川 裕

神戸市立医療センター中央市民病院
副院長兼循環器内科部長

第46回日本臨床運動療法学会学術集会 事務局
事務局長：岩田健太郎 E-mail: jaetp2027@gmail.com

SAVE THE DATE ・ KOBE 2027

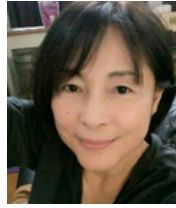
2027年9月4日 (土) 5日 (日) に、第46回日本臨床運動療法学会学術集会を神戸にて開催いたします。運動療法について職種・専門性の垣根を超えた実りある学術集会となるよう、準備を進めております。プログラム等の詳細は、今後あらためてご案内いたします。

アクティブに活動している会員を紹介します(総務委員会企画)

JAETP 会員紹介【第14回】

田中 尚子

(公財) 日本健康スポーツ連盟



私が勤務しております公益財団法人日本健康スポーツ連盟は、昭和62年に厚生省・文部省の共管により認可された財団です。当時、健康運動指導士の養成講習会を担う財団がなかったことから、その役割を担う組織として設立されました。

また、当連盟では以前よりフィットネスクラブの経営懇話会を開催するなど、フィットネス業界との関わりを深めており、その経緯から厚生省より厚生労働大臣認定健康増進施設の認定に関する調査団体として指定されました。私はその当時から当連盟に在籍しており、入職以前は、フィットネスクラブにおける食関係の仕事に携わっており、そこからフィットネスクラブを通じた健康づくりに関心を持つようになりました。当時はフィットネスクラブを総合的な視点から捉え、発展を支える団体はまだ多くありませんでした。そのような中、健康づくりと運動を施設を通して支える当連盟の事業に強く興味をもち、仕事に携わるきっかけとなりました。

今回、ニュースレターへの寄稿の機会をいただきましたので、健康増進施設・指定運動療法施設のこれまでの歩みと現在の状況、そして今後への期待についてお伝えできればと思います。

表1に示すとおり、健康増進施設・指定運動療法施設は、国の健康づくり施策や研究の進展とともに制度の

整備・見直しが進められてきました。令和4年の指定運動療法施設は237施設（回答166施設）で、このうち133施設で運動療法が実施され、実施人数は9,274人でした。

【運動療法の実施状況】(令和4年運動療法実施状況集計結果)

- ・指定運動療法施設数：237施設（回答数：166施設）
内運動療法実施施設数：133施設
- ・運動療法実施人数：9,274人
- ・生活習慣病実施人数：総実施人数の70%

年ごとに運動療法実施人数は増えてきていますが、必要な方が身近な場所で適切な運動療法を受けられる環境をつくっていくことが重要だと思います。

私自身、木村先生のご紹介により日本臨床運動療法学会に参加するようになり、多くの先生方や若い研究者、学生の皆様の研究発表や講演を拝聴する中で大きな刺激を受けています。

長年健康増進施設やフィットネスの側から「運動」を見てきた私にとって、医学・臨床・研究という視点から運動療法を捉える先生方のお話は、まさにカルチャーショックともいえるものでした。

一方、学会で蓄積されている素晴らしい研究や知見を、健康増進施設や指定運動療法施設の「現場」にもっと届けることができれば、運動療法はさらに発展していくのではないかと感じています。

今後は、日本臨床運動療法学会と健康増進施設・指定運動療法施設との連携を通じて、学会で得られた知識や研究成果を施設の経営者や運動指導者にも広く届けていければと思っています。そして、医療と運動、リハビリテーションとトレーニングがそれぞれ別のものとして存在するものでなく、互いに繋がっていくことにより「治療」「改善」から「予防」まで切れ目なく支える仕組みにつながることを期待しています。

年	国の施策	研究	健康増進施設認定制度とメディカルフィットネス
1978	第一次国民健康づくり対策（栄養・運動・休養）		
1988	第二次国民健康づくり対策 アクティブ80ヘルスプラン（栄養・運動・休養） 健康増進施設認定制度の普及 健康運動指導士、健康運動実践指導者、 管理栄養士、保健師等のマンパワー		認定制度スタート（認定施設20施設）
1992	指定運動療法施設制度 医療法第42条の施行	民間健康増進施設を活用した運動療法 マニュアル開発事業（健保型）	指定運動療法施設制度スタート 医療法第42条の施行 医療法人運営の運動施設の認定申請始まる
2000	第三次国民健康づくり対策 健康日本21一次予防・健康寿命の延伸、 生活の質、目標設定と評価		
2002			
2006	健康づくりのための運動基準2006	健康づくりのための運動指針2006 エクササイズガイド策定 健康づくりのための身体活動基準2013	
2013	第四次国民健康づくり対策 健康日本21（第二次）健康寿命の延伸と健康格差の縮小	厚生労働科学研究 健康増進施設の 現状把握と標準的な運動指導プログラム 策定、健康増進施設による大規模実証事業	
2017			
2020			第19回メディカルフィットネスフォーラム
2022	健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023	健康増進施設の認定規程緩和	第1回 健康増進施設学術大会の開催 第2回 健康増進施設学術大会の開催 (2020年～2024年)
2024	第五次国民健康づくり対策 健康日本21（第三次）		メディカルフィットネスフォーラム開催

表1. 制度の歴史と健康増進施設とメディカルフィットネス

Information

JAETP Web CC (ケースカンファレンス)

ケースカンファレンスは運動療法に関わるスタッフの臨床能力向上のための勉強会です。質疑応答やディスカッションの時間も設けています。ぜひ奮ってご参加ください。

詳細・初めて参加される方は[こちら](#)



第28回 11.6 (金) 18:30- オンライン開催

もまなく！
次回開催
参加無料

医療法人順興会 上條診療所
院長 武本 優次 先生

上條診療所では「ずっと元気に」をテーマにした安心して通える医療機関併設メディカルフィットネスを運営しています。
(公式HPより)

施設概要



Focus

CENSセミナーのご案内

CENS入会はこちら



CEPA Japanは2026年9月よりCENS(Clinical Exercise Network Section)へ名称を変更しました。CENSは今後も日本臨床運動療法学会の下部組織として活動します。一緒に、医療・介護・福祉の現場で働く健康運動指導士・運動指導専門家のさらなる活躍とスキルアップを目指しましょう。

指導力UP！
現場で使えるエビデンスと実践手法！

日時：2026年12月5日(土) 13:30～16:40
会場：あいち健康の森 健康科学総合センター

1 明日から使えるサルコペニア、ロコモ、フレイル予防の最新エビデンス

真田 樹義 先生
(立命館大学 教授)

2 運動を効果的に行うための姿勢トレーニングー明日から使える体軸体操ー

横井 純子 先生
(愛知県エアロビック連盟 理事長)

サルコペニア・ロコモ・フレイル予防の最新エビデンスと、注目の姿勢トレーニングの実践手法を学びます。地域の運動指導者を対象に現場で役立つ指導力の向上を目指します。

[詳細・お申込み](#)

慢性疾患患者の運動療法の最新エビデンス
と実践的指導

日時：2026年12月13日(土) 9:30～12:40
会場：関西医科大学 第1講義室

1 講義：慢性疾患患者の運動療法の最新エビデンス

宮脇 大 先生
(株式会社Doctor's Fitness 代表医師)

2 実習：慢性疾患に対する症例検討～在宅勤務で活動量が低下した心筋梗塞・糖尿病症例をどう支援する？～

久保田 真由美 先生
(関西医科大学総合医療センター 健康運動指導士)

慢性疾患に対する運動療法について最新のエビデンスを学び、その後の症例検討ではグループワークで実践的な支援方法を深めます。明日から現場で使える多様な視点を養います。

[詳細・お申込み](#)

会員割引、健康運動指導士・健康運動実践指導者の更新単位があります。詳細は各申込ページをご確認ください。